

# 荒牧町だより

第126号  
平成25年1月15日  
荒牧町自治会  
広報委員会

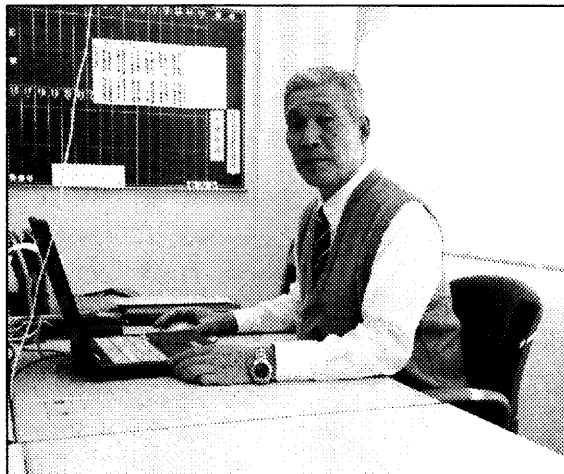
## 【年頭の挨拶】

新年明けましておめでとうございませう。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

今年も荒牧神社の初詣で大勢の方と新年を迎へ、皆様の安全と今年一年健康で活躍されますよう御祈願致しました。

昨年は猛暑の中、納涼祭が盛大に開催され、各団体、組長および皆様のご協力でケガ、事故がなく無事に終了することが出来ました。

特に商工会の皆様には暑い中、汗だくでヤキソバを焼いて頂き、参加した皆様には毎年美味しいと大勢の声を頂きました。



年頭の挨拶をする別所自治会長

そして体協、育成会の皆様にも子供達を沢山の催しで楽しませて頂きお礼申し上げます。

前橋市に陳情した中央公園南西側から南に至る土手の雑木伐採事業も秋に完了しました。土手上の歩道は荒牧小学校の登下校の順路になっていて、作業前には見通しが悪く防犯上危惧していましたが、見通しも良くなり、防犯、事故等におきましても以前にも増して安全性が図られたように思います。

九月には、先人達の将来を見越した英知により約三十年経過した「北部第三区画整理事業」も終了し、一部地域を除き一丁目から三丁目に四丁目は一部拡大され住所が変更になり、また公民館敷地内には後世まで伝えるべく区画整理記念碑を建立することが出来ました。

十一月には、一人暮らしの方を招き「ふれあい食事会」を開催し民生児童委員、保健推進委員皆様の手作り料理を食べていただき美味いとお褒めの声を頂きました。また、マジシャンを招き、余興のマジックショーに目が奪われ好評のうちに関わる事が出来ました。

自治会各種行事においても皆様にご協力を頂き、予定どおり終了することが出来ました。あらためて御礼申し上げます。結びに、今年も「住んで良かった荒牧町」に向かって明るく、楽しく、元気あ

る町づくりにまい進してまいりますので今まで以上に皆様のご協力とご指導を宜しく願います。

平成二十五年 元旦  
荒牧町自治会

会長 別所郁雄  
副会長 楯 敬次  
副会長 高橋照夫

## 【賑わった初詣で】

様々な願いを心に思い、輝かしい新年を迎えるにあたり、町の氏神様であります「荒牧神社」へ約600名の方が、参拝され大変賑わった初詣となりました。

神社旗作り(七百本)



参拝者を迎える神社



みかんコーナー



お神酒と甘酒コーナー



参拝者に挨拶する  
実行委員長と三役



参拝者が暖をとる薪



参拝を待つ長い列



ご家族そろっての参拝者



境内の準備作業



・荒牧まちかど探検 27...

【全国各地にある「あらまき」】

わが国は地名の多い国として知られている。その地名の名は、山川草木による地形あるいはその場所の形状、あるいは歴史由来など様々である。

さて、これら全国の地名の成り立を調べてみると、その場所の多くが最初から現在使われている地名ではなかった。一つの例として以前からの発音が現在の地名となつていっているものも決して少なくない。「かつち」、「かわち」、「こうち」と呼ばれていた土地が、今では「河内」と表記されているのが、その例である。

現在の「あらまき」も古い文献によると、その全てが確証をもてるとは限らないが、かつては新牧、荒蒔、荒巻という記述も存在していた。

さて、我が「荒牧町」の「あらまき」について調べてみると、昭和46年に元群馬大学歴史研究室の尾崎喜左雄教授が次のように書いている。

要約すると「『あらまき』は現在『荒牧』の文字をあてている。一見、荒廃した牧場を連想するが、これは『新牧』の意味であろう。この地は西隣の川原村(町)との間に、元禄年間の古地図によると利根川が流れていた。また、『延喜式』という書物によると、上野国から馬を献上した官牧の一つに『有馬島敷』があった。有馬は以前の古巻村大字有馬である。『古巻』は『古牧』であり、『ふるまき』に対して『あらまき』があつたことは当然考えられる。有馬の地の東方に『新牧』が設けられ『あらまき』と呼ばれ『荒牧』の字があてられたと考えられる。...さて、馬を献上した官営の牧場は特に

上野国だけでなく、全国に「古牧」や「荒牧」という地名がある筈であり、これは上述した、従来の古い牧場に対して新しい牧場にあたる地名が付けられているのである。

平成17年(2005年)に平凡社の刊行による、「日本歴史地名体系」という辞典により「荒牧村」という地名のある場所を調べると、群馬・新潟・滋賀・兵庫・熊本・大分のそれぞれの県にあることが分かった。しかし、これらは当然平成17年の調査に基づくものであるため、その後の市町村の合併等により変遷を遂げたことは、十分考えられる。

そして「あらまき」と呼ばれる、新牧、荒巻、新巻、新蒔、荒蒔という地名になると、さらに多くの県や地区から見出すことができる。我が荒牧町もかつては荒蒔・荒巻と表記されていたような記述も存在している。次に上記6県の県毎の事典や各県の担当者からの調査により、「あらまき」という名称の由来を調べて見た。

その結果、これらの地名の殆どが、古くは古代あるいはそれ以降の馬の産地あるいは牧場(まきば)に関係したものであった。「荒牧」以外で表記されている地区に



古巻陸軍近衛師団第26旅団の跡地と対比される荒牧村  
写真右：荒牧村と対比される古巻  
写真左：明治26年近衛師団、陸軍大演習視察のため当地を訪れる

についても、全部は調査できなかつたが恐らく馬・牧に関係した地名と考えて良いのではないかと。(荒牧町ホームページより)



荒牧村発祥いわれの碑  
(荒牧町公民館敷地に設置)

【なお一層の交通安全を！】

1月5日の上毛新聞に「警察庁が、平成24年の全国で交通事故死者が、12年連続で減少しました。」の記事が掲載されました。

しかし、群馬県は106名で全国で16位、前年対比の増加も第7位というワースト記録だそうです。

但し、この内訳には、昨年4月の関東自動車道の高速度バス事故の7名も含まれております。1年間で100名を超えたのは、平成19年以来6年振りの記録だそうです。前橋・同東署管内でも前年を上回ってしまったそうです。

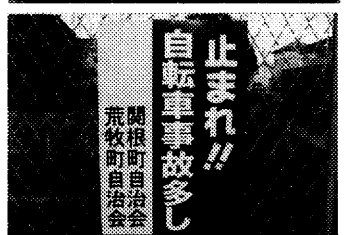
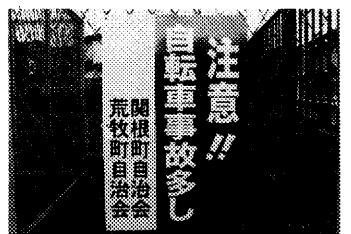
年代別では、65歳以上の高齢者が54名で51%を占めており、反射材を着用しない人が、19名いたそうです。

幸い荒牧町内では「0」でしたが、交通事故は、多発しております。そこで、事故防止の一環としてマナーアップの標識を自治会が設置しました。(頁右下写真)今年も交通安全には、気を付けましょう。

《 自治会・各団体行事予定 》

日付	団体	行事内容	場所
1/20(日)	南橋体育協会	ドッチビー大会	南橋中学校体育館
1/26(土)	長寿会	高齢者教室 (歌と踊りのつどい)	荒牧町公民館 (午前中)
1/28(月)	新田東地区	不動明王例大祭	新田お不動様境内
2/13(水)	ふれあい カウ委員会	マンドリン演奏会	荒牧町公民館
2/16(土)	自治会	地区代表・組長 各種団体役員慰労会	荒牧町公民館 (午前中)
2/17(日) (予)2/24(日)	育成会 体育協会	町内廃品回収	荒牧中央公園 自性寺公園
3/16(土)	自治会	定期総会	荒牧町公民館 (9:30~)

【自治会からのお知らせ】  
3月1日の「広報まえばし」は、都合で3月4日(月)の配布となります。



広瀬川関根南橋際にある自治会の標識

〈自治会事務所〉

月曜日から金曜日  
午前10時から午後一時まで  
電話・FAX  
027(233)9913